

平成28年度教育委員会点検評価

[評価対象期間]

平成28年4月1日～平成29年3月31日

平成29年8月

加西市教育委員会

加西市教育委員会評価委員会

○教育委員会評価にかかる難易度基準の設定

難易度	難易度設定の基準
A	加西市独自に取り組むもので、達成が困難なもの
	国、県の基準を超えて加西市独自の基準で取り組んだもの
	定額交付金制度等における市費の予算措置の獲得と事業推進にかかるもの
	その他、障壁が大きく、客観的に達成困難と思えるもの
B	以前から取り組んでいるもので、達成に努力を要するもの
	国、県の基準で行うもので、達成が困難なもの
	要綱に則るが、市の推進方向、学校の実態に沿う取組で、達成が困難なもの その他、客観的に達成に大きな努力を要するもの
C	国、県の基準で行うもので、達成可能なもの
	以前から取り組んでいて、達成可能なもの
	その他、客観的に達成可能と思えるもの

○教育委員会評価にかかる達成度基準の設定

達成度	達成基準
4	目標を大きく超えて達成
3	目標を超えて達成
2	ほぼ目標を達成
1	目標を下回る

○評価基準の表示方法

評価基準の表示については、横軸：難易度、縦軸：達成度として塗潰して表示する。

難易度は高い順にA～Cの3段階、達成度は高い順に4～1の4段階で評価する。

右の例示は難易度B、達成度3。

(達成度)

4			
3		■	
2			
1			

C B A (難易度)

平成28年度 加西市教育委員会点検評価総括表

基本理念	重点目標	実践目標	取組	評価		担当課	
				難易度	達成度		
新しい時代を切り拓くこころ豊かで自立した人づくり	1	1 「生きる力」の基礎をはぐむ幼児期の教育・保育を充実します	体験的な活動の充実ならびに食育を通じて家庭、地域との連携推進を図る	B	3	こども未来課	
			3～5歳児(36か月)の発達を見通した教育カリキュラムを実施する	B	3		
			子育て相談などの機会設定と療育・保健部門と連携した子育て支援を推進する	A	3		
		2 発達や学びの連続性を保つ保幼・小・中学校の連携教育を強化します	小1プロブレム・中1ギャップの解消を目指した各種委員会・研修講座等の充実と、「家庭学習ハンドブック」「発達支援ファイル」の活用を推進する	A	3	総合教育センター	
			3 学力向上策の充実を図り、「確かな学力」を育成します	児童生徒の「確かな学力」を育成するため、授業改善に取り組むとともに、人的支援等によるきめ細かな指導の充実を図る	A	3	学校教育課
		学校との連携を深め、子どもたちの読書活動を支援する		B	3	図書館	
		4 人間形成の基礎となる自尊心・自律性・道徳性など「豊かな心」を育てます	児童生徒の「豊かな心」を育成するため、道徳の時間を要とした道徳教育の推進や体験活動の充実を図る	B	3	学校教育課	
	いじめの積極的な認知と、未然防止、早期発見・早期対応における組織的対応の充実を図る		B	3	総合教育センター		
	5 体育や健康教育、食育を推進して「健やかな体」を育てます	「健やかな体」を育成するため、授業改善等を通じた体力・運動能力の向上、栄養教諭を活用した食育指導等の充実を図る	B	2	学校教育課		
		安全安心な学校給食を実施する	B	3	教育総務課		
	6 家庭・地域・学校園が連携し、特色ある学校園づくりを進めます	地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する	B	4	総合教育センター		
	7 教職員としての資質能力の向上、研修の充実を努めます	キャリアステージに応じた資質や能力の向上・育成を目指した研修講座等の充実を図る	A	3	総合教育センター		
	2	ます生涯を通じた「学び」を充実します	1 市民一人一人のニーズと社会の要請に応える「学び」の場を提供します	学習機会を提供する	B	2	生涯学習課
			2 「いつでも、どこでも、気軽に」学べる公民館活動を充実します	学習成果を地域に還元する	B	2	生涯学習課
			3 ふるさとの豊かな歴史、文化遺産を活かしたまちづくりを進めます	指定文化財および埋蔵文化財の保護活用と情報発信に取り組む	B	3	生涯学習課
	地域歴史遺産の掘り起こしと活用及び文化財保存団体等の活動を支援する	B		3			
	3	しますみんなで子どもの未来を応援し、支援	1 子育て環境の充実を図ります	幼保連携型認定こども園の整備と学童保育の充実を図る	A	3	こども未来課
				特別保育ならびに保育料の負担を軽減する	B	4	
				親子のふれあいや地域交流を通じた子育て支援を実施する	B	3	
		2 命と人権を大切にすこころ豊かでたくましい青少年の健全育成を進めます	青少年の健全育成に係る関係機関・団体等との情報交換や合同研修活動等の充実を図る	B	3	総合教育センター	
	3 安全・安心な教育環境を整えます	教育施設の老朽化度合いを考慮し、各年度に実施する改修工事件数を設定し、計画的に改修工事を実施する	B	3	教育総務課		

< 施策評価の分布 >

実践目標を構成する各取組内容の評価分布数は、下記の表のとおりです。

難易度	A	B	C	合計		達成度	4	3	2	1	合計
施策数	5	16	0	21		施策数	2	16	3	0	21
割合(%)	24%	76%	0%			割合(%)	10%	76%	14%	0%	

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	1	「生きる力」の基礎をはぐくむ幼児期の教育・保育を充実します
------	---	-------------------------------

【 担当課 こども未来課 】

取組	1	体験的な活動の充実ならびに食育を通じて家庭、地域との連携推進を図る
----	---	-----------------------------------

取組内容	<p>○様々な人や物との関わりを通して、多様な体験ができるよう環境構成を工夫し、コミュニケーション力や思考・表現力の育成を推進</p> <p>○地域、家庭などと連携した健全な食育活動の実践</p>	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
食育講座	園児と保護者の参加人数	H27	—	463人
		H28	450人	454人

取組状況・成果	<p>・年間指導計画に基づく園活動を実施し、絵本の読み聞かせなど地域の教育力を生かした、様々な体験活動の取組を通じて地域と幼児の関わりを深めた。</p> <p>・園庭の畑で、自分たちで種まきをして育てた野菜を収穫する喜びを体感し、さらに収穫物を調理して食べるなど、5感を通じた体験を進めた。また、保護者に対し食育の大切さを伝えるため、加西市健康課、加西市いずみ会と連携して5歳児対象の食育講座を実施した。</p>			
	平成27年度(10園)		平成28年度(10園)	
	太鼓演奏	1園 園児 49人	1園 園児 50人	
	地域の行事に参加	10園 園児 596人	11園 園児 574人	
	絵本の読み聞かせ	10園 園児 596人	11園 園児 574人	
	こども茶道教室	3園 園児 89人	3園 園児 94人	
	こどもヨガ教室	2園 園児 89人	3園 園児 58人	
	リズム遊び	3園 園児 59人	3園 園児 58人	
	食育講座	7園 園児・保護者 463人	9園 園児・保護者 454人	

今後の取組・課題	<p>・幼児期の心が動く体験活動を大切にしながら、各園の特徴ある取組の中で培われる学びを意識し、他園との柔軟な協力体制を構築して保育の質を充実していく必要がある。</p> <p>・「遊びの中の学び」という教育の見えにくい部分をしっかりと可視化して保護者に発信できるよう、方法を工夫する。</p>	評価		

取組	2	3～5歳児(36か月)の発達を見通した教育カリキュラムを実施する			
取組内容	<p>○人間形成の基礎となる豊かな心情、物事に自分から関わろうとする意欲や健全な生活を営むために必要な態度の育成</p> <p>○小学校教育への滑らかな接続に情動知能を育てるSTARTプログラムの実践</p>				
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値
市指定研究発表にかかる職員参加者		公私立園の参加延人数	H27	—	200人
			H28	200人	228人
取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルを意識した3歳児から就学前までの保育カリキュラムを、各園の教育目標やねらいに合わせて実践した。 ・幼稚園は2年、認定こども園は3年の幼児教育を行い、同年齢や異年齢の友達と遊ぶことによって知的好奇心や社会性を伸ばす教育を進めた。 ・基本的な生活習慣チェック表「すくすくカード」に基づき、年間5回家庭での状況をチェックしていただき、基本的な生活習慣定着に努めた。 ・職員の資質向上を図るため、北条西保育所において園内研修(公開保育)を4回開催し、11月の実践発表と講演会には幼保職員延べ228人が参加した。 ・幼児教育研修講座としてSTARTプログラム講座を開催し、各園で実践することで、小学校入学後の子どもが集中して学習に取り組んでいる姿を把握することができた。 				
今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育の基本の部分は、公私立園の共通理解を深める必要がある。0歳～5歳児までの成長や地域の特性に応じた職員研修会を計画し、私立園の参加も含めた職員全体の資質向上に努める。 ・子どもの心に寄り添い“今どんな気持ちで遊びを進めているのか”をしっかりと観察し、職員間で共通理解を進め、幼児の実態に即した指導計画の検討と改善を図る。 	評価			

取組	3	子育て相談などの機会設定と療育・保健部門と連携した子育て支援を推進する				
取組内容	<p>○就園前の親子を対象に、育児相談ならびに体験保育の場として園庭開放</p> <p>○発達障害児支援について療育・健康部門との連携を図り、加配職員を適正に配置</p> <p>○個々の特性に応じた個別の指導計画の立案及び発達に応じた支援ファイルの作成</p>					
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値	
支援担当職員数		特別な支援のための加配職員配置数	H27	—	17人	
			H28	20人	21人	
取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児親子を対象に延べ45回の園庭開放や幼稚園ウイークなどの公開保育を計32回開催した。また、親子参加事業等を59回開催し、子育て不安解消に向けた取組を行った。 ・発達相談等のあった3歳児以上の園児44名を対象に、個々の実態調査を行ったうえ支援担当職員21名の配置を決定した。また、私立園には加配職員配置助成措置を2件講じた。 ・発達支援児個別の指導計画を基に個々の支援ファイルを作成し、特別支援ネットワーク会議で、保幼小職員相互で支援ファイルをもとに情報伝達を行うことで支援の継承を図った。 					
今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達特性に応じた支援を行うために、職員は研修に参加して特別支援教育の専門知識と実践力を高める必要がある。 ・特別支援児支援担当職員を臨時職員で対応しているが、早期の対応を図るには引き続き職員の確保が必要である。 			評価		

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	2	発達や学びの連続性を保つ幼・小・中学校の連携教育を強化します
------	---	--------------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	小1プロブレム・中1ギャップの解消を目指した各種委員会・研修講座等の充実と、「家庭学習ハンドブック」「発達支援ファイル」の活用を推進する
----	---	--

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保・小・中・特別支援学校及び各種関係機関等との連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育推進委員会の開催 (加西市小中連携推進プラン(H27.2月策定)に基づく取組の推進) ・発達支援プログラム(小集団トレーニング、保護者学習会、小中学校連絡会等)の実施 ・幼保小中特別支援学校ネットワーク会議の開催 (支援・関わりの歴史の引継ぎ、発達支援電子ファイルの活用等について情報交換) ・学警総連絡会兼いじめ対応ネットワーク会議(中学校区情報交換会)の開催 ○家庭学習ハンドブックを作成・配付及び活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28・29年度改訂版を、市内全児童生徒に配付(学級懇談会・学活等で活用方法説明) 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
特別な配慮を実施した児童生徒数	各種ネットワーク会議や学警総連絡会等で、特別な配慮が必要な児童生徒について、関わり方等を情報交換し、実際の指導等に活かした児童生徒数	H27	—	120人
		H28	150人	186人

取組状況・成果	児童生徒理解に係る連絡会等一覧	
	会議名	備考
	小中連携教育推進委員会	年間3回開催(内1回は播磨東地区研修会)
	幼保小中特別支援学校ネットワーク会議	年度末に加西特別支援学校にて開催
	学警総連絡会(中学校区情報交換会)	年間5回開催、中学校区毎に情報交換
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校や各中学校区における小中連携教育の取組が、継続・発展・増加してきた。 ・推進委員会での現状報告(各校の想い等)が、各校の取組等に活かされている。 ・発達支援電子ファイルを、複数の県立高等学校・私立高校に引き継ぐことができた。 (継続的な支援等を図ることができる。今後も支援等の繋がりを拡大させていきたい。) ・関係機関・専門医師等との共通理解が、児童生徒・保護者等との関わりに活かされている。 ・学警総連絡会での児童生徒対応等の記録が、確実に引き継がれるようになった。 ・家庭学習ハンドブック(改訂版)を全児童生徒に配付することができた。 		

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市小中連携推進プランに基づき、各中学校区の現状と課題に寄り添いつつ、9年間のカリキュラムを作成する等、具体的な取組を実施する。 ・特別な配慮が必要な児童生徒にあつては、学校・保護者・関係機関等とが、より一層の連携を深め、発達支援電子ファイルの有効活用に関する具体的な方法等を検討し、総合的・継続的な支援等に結びつけることが必要である。 ・家庭学習ハンドブックの活用方法等について、各校・各家庭に周知する方法等を検討していきたい。 	評価		

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	3	学力向上策の充実を図り、「確かな学力」を育成します
------	---	---------------------------

【 担当課 学校教育課 】

取組	1	児童生徒の「確かな学力」を育成するため、授業改善に取り組むとともに、人的支援等によるきめ細かな指導の充実を図る
----	---	---

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○かさい学力向上プロジェクト事業(H26～) <ul style="list-style-type: none"> ・かさい学力向上推進委員会の設置(全国学力・学習状況調査結果分析等) ・学力向上セミナーの開催(1/5) [参加者]小・中・特支学校教諭等43人 ・授業実践講座の開催(5/12、7/28、8/25) [参加者]小・中・特支学校教諭等のべ94人 ・読書活動の活性化 各校50万円の図書購入費を措置 ○スクールサポーター配置事業(H27～) <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許所持者等の支援員を配置し、各学校や個々の児童生徒の状況に応じた学習支援の実施 [支援員]スクールアシスタント、ヤングアドバイザー等のべ39人 ○学習支援システムの導入(H28～) <ul style="list-style-type: none"> ・Web上の学習支援システムを導入し、学習コンテンツ等の活用及び児童生徒の習熟度に合わせたプリント教材の活用による学力向上の取組の推進 [導入校]全16校 ○加西市外国語活動推進プランの実施(H23～) <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの配置 [配置校]全16校(小1～4年間10時間、小5～年間35時間) ・長期休業中の英会話教室・職員研修の実施 [実施回数]のべ11回 ・かさい英語村の実施(小4以上、40人) ○かさいがんばりタイムの実施(H26～) <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した放課後の補充学習の促進 [実施校]全中学校のべ610h ○かさい未来塾の実施(H28～) <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した長期休業中の補充学習の実施 [実施校]全中学校のべ91日間 ○「家庭学習ハンドブック」の活用(H25～) <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習ハンドブックを活用し、家庭学習の取組の促進 [実施校]全小・中学校 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
全国学力・学習状況調査の平均正答率(国、算・数)	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における各科目の平均正答率	H27	全国平均以上	6/8科目
		H28	全国平均以上	5/8科目
授業(国、算・数)がよくわかると回答した児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小79.6%(▼1.9) 中67.1%(▼5.9)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小80.2%(▼0.3) 中68.7%(▼3.1)
普段、1日当たり1時間以上学習する児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小62.2%(▼0.5) 中76.0%(◎7.0)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小68.5%(◎6.0) 中72.4%(◎4.5)

取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学力については、全ての科目が全国平均と同程度(±5.0ポイント以内)であるが、小学校で2科目、中学校で1科目が全国平均より低い状況である。小学校では国語A(知識)がやや低い数値を示しており、中学校では数学A(知識)が高い数値を示している。 ・授業(国、算・数)がよくわかると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度より高くなっており、全国平均との差も縮まっている。 ・平日の家庭学習において、1時間以上学習する児童生徒の割合は、小学校で6ポイント以上改善し、小・中学校ともに全国平均を上回っている。 	
---------	--	--

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく導入した「学習支援システム」の効果的な活用について研究を進め、各校において多様な学習活動を取り入れた授業づくりを推進する。 ・「かさいがんばりタイム」や「かさい未来塾」等、放課後や長期休業日を利用した補充学習等を進め、基礎的基本的な知識・技能の定着や学習習慣の確立を図る。 ・学習タイムにおける読書活動の充実や家庭での読書等を推進するとともに、学校図書館の充実を図り、子どもが本に親しみ、本を楽しむことができる環境づくりを推進する。 	評価		

取組	2	学校との連携を深め、子どもたちの読書活動を支援する																	
取組内容	<p>○「第二次加西市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校との連携を深め、子どもたちの読書活動を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中・特別支援学校への団体貸出託送サービス ・市内4中学校の1年生にブックトークの出前講座 ・小学校でのブックトークやお話会の出前講座 ・学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業 ・学校からの図書館見学 																		
指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値															
各学校への団体貸出託送サービスの充実	幼保を含めた各学校への託送回数と貸出冊数	H27	—	86回 3,524冊															
		H28	95回 3,600冊	108回 3,414冊															
取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への託送は回数では目標数値を大きく上回ったが、内容や時期が重複したことで冊数が目標に達しなかった。 ・中学校でのブックトークは全校で開催、小学校の出前講座は学校の希望日に実施できなかったことにより目標を下回った。 ・学校からの図書館見学は目標値を超えての利用となった。 <p>学校連携事業の取組一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組事業名</th> <th>目標数値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校の1年生にブックトークの出前講座</td> <td>市内4校</td> <td>市内4校</td> </tr> <tr> <td>小学校への出前講座</td> <td>10回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>学校からの図書館見学</td> <td>12回</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>児童書の蔵書数の拡充</td> <td>37,600冊</td> <td>38,298冊</td> </tr> </tbody> </table>				取組事業名	目標数値	実績	中学校の1年生にブックトークの出前講座	市内4校	市内4校	小学校への出前講座	10回	9回	学校からの図書館見学	12回	14回	児童書の蔵書数の拡充	37,600冊	38,298冊
取組事業名	目標数値	実績																	
中学校の1年生にブックトークの出前講座	市内4校	市内4校																	
小学校への出前講座	10回	9回																	
学校からの図書館見学	12回	14回																	
児童書の蔵書数の拡充	37,600冊	38,298冊																	
今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の確保に努め、引き続き児童書の充実を図っていく。 ・今後は、学校への託送のみでなく、ブックトークなどの出前講座ができる司書スタッフの確保と養成が必要である。 			評価															

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	4	人間形成の基盤となる自尊心・自律性・道徳性など「豊かな心」を育てます
------	---	------------------------------------

【 担当課 学校教育課 】

取組	1	児童生徒の「豊かな心」を育成するため、道徳の時間を要とした道徳教育の推進や体験活動の充実を図る
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ○兵庫型「体験教育」の実施(県事業) <ul style="list-style-type: none"> ・環境体験事業(H19～) [対象]小3、357人 ・自然学校推進事業(S63～) [対象]小5、332人 ・わくわくオーケストラ教室(H18～) [対象]中1、335人 ・「トライやる・ウィーク」推進事業(H10～) [対象]中2、424人 ・交流・体験チャレンジ事業(H26～) [対象]特別支援学校小5～中3、13人 ○道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・全体計画、年間指導計画の作成 [作成校]全小・中学校 ・「道徳の時間」の確保 [標準時数]小学校1年生34h、小学校2年生～中学校3年生35h ○キャリア教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・全体計画、年間指導計画の作成 [作成校]全小・中学校 ○生活習慣「あ・い・う・え・お」の推進

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
学校のきまり(規則)を守っていると思う児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小93.1%(◎2.0) 中92.2%(▼2.2)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小93.9%(◎2.4) 中96.4%(◎1.7)
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小95.9%(▼0.3) 中95.1%(◎1.4)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小96.6%(◎0.0) 中94.8%(◎1.2)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小72.3%(▼4.1) 中57.9%(▼10.2)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小76.3%(◎0.0) 中69.9%(◎0.6)
難しいことも失敗を恐れず挑戦している児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目 ※ 肯定的な回答をした割合	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小73.7%(▼2.7) 中61.6%(▼7.2)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小73.4%(▼2.7) 中53.2%(▼16.4)

取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の道徳性に関して、規範意識は全国値と同様に高い数値を示している。自尊感情に関しては、中学校で10ポイント以上改善し、小・中学校ともに全国値並みとなっている。 ・チャレンジ精神については、小学校で横ばいであるが、中学校では8ポイント以上下がっており、各校における工夫した取組が必要である。 ・「道徳の教科化」に向け、道徳研究校を小、中各1校、計2校指定(H28・29年度)し、道徳の授業改善、評価の在り方等について、研究を推進した。H29年度にその成果を発表し、市内各校へ周知を図る予定である。 ・児童生徒のキャリア形成を支援するため、市内全校で、キャリア教育の全体計画、年間指導計画を作成した。本格的な実施は、H29年度となる。
---------	--

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の全体計画や年間指導計画に沿って、兵庫型「体験教育」と関連付けたキャリア教育を推進し、その中で児童生徒の自尊感情やチャレンジ精神を高める取組を進める必要がある。 ・市指定道徳研究校の実践研究を公開し、市内各学校へ周知を図るとともに、各校においても積極的に保護者や地域に道徳の授業公開を行い、道徳の時間のさらなる充実を図る。 	評価		

取組	2	いじめの積極的な認知と、未然防止、早期発見・早期対応における組織的対応の充実を図る								
取組内容	<p>○いじめ防止に係る取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加西市いじめ防止基本方針(平成26年4月策定)に基づく取組の実施(各校毎には「学校いじめ防止基本方針」「重大事態対応マニュアル」に基づいて取り組む) ・加西市いじめ対応ネットワーク会議の開催 ・加西市子どもいじめ問題対策審議会の開催 									
指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値						
いじめの認知件数	積極的ないじめの認知に係る認知件数	H27	—	小学生9件 中学生6件						
		H28	—	小学生4件 中学生20件						
取組状況・成果	<p>いじめ対応に係る対策会議等一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加西市いじめ対応ネットワーク会議</td> <td>年間5回開催(学警総連絡会と併せて実施)</td> </tr> <tr> <td>加西市子どもいじめ問題対策審議会</td> <td>年間2回開催(委員は5名、各種専門家等)</td> </tr> </tbody> </table>				会議名	備考	加西市いじめ対応ネットワーク会議	年間5回開催(学警総連絡会と併せて実施)	加西市子どもいじめ問題対策審議会	年間2回開催(委員は5名、各種専門家等)
	会議名	備考								
加西市いじめ対応ネットワーク会議	年間5回開催(学警総連絡会と併せて実施)									
加西市子どもいじめ問題対策審議会	年間2回開催(委員は5名、各種専門家等)									
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止(居心地のよい・居場所のある仲間づくり等)の取組を実施することを通して、児童生徒の「豊かな心」の醸成を図ることができた。 ・加西市いじめ対応ネットワーク会議を開催することを通して、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等を図ることができた。また、各校の取組等を共有し、自校の取組等に活かすことができた。 ・加西市子どもいじめ問題対策審議会を開催することで、重大事態が起こった際のマニュアルを作成することができた。また、各種専門家等からの貴重な意見等を聞くことができた。 ・加西市いじめ防止基本方針や加西市子どものいじめ防止等に関する条例等を策定することで、いじめ防止の取組の体制を確立することができた。 										
今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的ないじめ認知を心がけ、早期対応・指導等によって、より豊かな人間関係の構築に繋げる。 ・各校の取組等について、専門家からの感想やアドバイス等を活かし、未然防止や早期対応等に繋げていきたい。 ・加西市いじめ防止基本方針や加西市子どものいじめ防止等に関する条例等に則り、さらに具体的な取組等を推進する必要がある。 	評価								

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	5	体育や健康教育、食育を推進して「健やかな体」を育てます
------	---	-----------------------------

【 担当課 学校教育課 】

取組	1	「健やかな体」を育成するため、授業改善等を通じた体力・運動能力の向上、栄養教諭を活用した食育指導等の充実を図る
----	---	---

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○かさい体力向上プロジェクト事業(H28～) ・体力向上プロジェクト委員会の設置(全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果分析等) ・広報誌(Web版)の作成 ※加西市Webサイトに掲載済 ○スクールサポーター配置事業(H27～) 【再掲】 ○食育の推進 栄養教諭による食育年間指導計画を作成し、それに基づいて各校の食育を推進 ○がんの教育総合支援事業(県事業) [推進校]下里小学校 がん教育講演会(講師:加西市立加西病院長 北嶋直人氏)とがんに関する授業を実施 ○いきいき運動部活動支援事業(県事業) [配置校]中学校2校 ○「部活動ガイドライン」の見直し 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技調査(国、算・数)	悉皆調査で実施される全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各種目の平均数値	H27	全国平均以上	小男 4/8種目 小女 5/8種目 中男 2/9種目 中女 4/9種目
		H28	全国平均以上	小男 2/8種目 小女 4/8種目 中男 3/9種目 中女 7/9種目
体育の授業が楽しいと回答した児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国体力・運動能力、運動習慣等調査における質問紙調査項目 ※「楽しい」と回答した割合	H27	全国平均以上	小男65.1%(▼7.6) 小女58.4%(▼0.9) 中男42.5%(▼7.3) 中女31.8%(▼6.7)
		H28	全国平均以上	小男74.5%(◎1.3) 小女53.8%(▼6.5) 中男58.5%(◎8.3) 中女41.1%(◎2.3)
毎日朝食を食べる児童生徒の割合	悉皆調査で実施される全国学力・学習状況調査における質問紙調査項目	H27	全国平均以上 ()内は全国比	小92.2%(◎4.6) 中85.8%(◎2.0)
		H28	全国平均以上 ()内は全国比	小89.6%(◎2.3) 中85.5%(◎2.2)

取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・実技調査において、中学女子を除いては、全国平均を上回る種目は半分にも満たない状況であり、体力・運動能力はやや低めである。上回る種目は「20mシャトルラン」「持久走」であり、「持久力」に優れている。一方、「上体起こし」「長座体前屈」は全て下回っており、「力強さ」や「柔軟性」に課題が見られる。 ・体育の授業が楽しいと回答した児童生徒の割合は、小学女子を除いて、10ポイント前後改善しており、授業改善が進んでいると考えられる。 ・毎日朝食を食べる児童生徒は、小・中学校ともに全国平均を上回り、食に関する児童生徒の意識は高い。 			
---------	---	--	--	--

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「かさい体力向上プロジェクト事業」において、児童生徒の「力強さ」や「柔軟性」を高めるための方策を検討する。 ・特に小学校における体育の指導力向上を図るため、外部講師による研修会の実施や校内研修を進める必要がある。 ・学校独自の食育推進に加え、栄養教諭による計画的な食育・栄養指導を進め、各校における食育・栄養指導の充実を図る必要がある。その際、「家庭学習ハンドブック」等を活用し、家庭における生活習慣の定着等、家庭との連携を図っていく。 	評価		

取組	2	安全安心な学校給食を実施する																																
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○小中特別支援学校の完全給食の実施 ○アレルギー対応食の実施 ○地産地消の推進 																																	
指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値																														
市内産食材の使用量	1人当たりの年間消費重量	H27	15.0kg/人	15.2kg/人																														
		H28	15.0kg/人	15.2kg/人																														
取組状況・成果	<p>・平成26年1月に北部学校給食センターが完成し、市内の全小・中・特別支援学校の完全給食が実施された。平成26年9月より、アレルギー対応食調理室を完備している北部学校給食センターの受配校に限り、卵除去食を実施している。地産地消の推進として、米は全て市内産のヒノヒカリを使用している。また、市内産野菜については、愛菜館、播磨農業高校、神戸大学より購入している。目標の使用量は達成した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>市内産食材名</th> <th>納入者</th> <th>H27重量(kg)</th> <th>H28重量(kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米</td> <td>県体育協会</td> <td>52,696</td> <td>50,985</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td>愛菜館</td> <td>5,070</td> <td>4,685</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td>播磨農業高校</td> <td>33</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>野菜・果物</td> <td>神戸大学</td> <td>179</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>57,978</td> <td>55,944</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>配食人数 (人)</td> <td>3,805</td> <td>3,692</td> </tr> <tr> <td>1人当・年間消費重量(kg/人)</td> <td>15.2</td> <td>15.2</td> </tr> </tbody> </table>				市内産食材名	納入者	H27重量(kg)	H28重量(kg)	米	県体育協会	52,696	50,985	野菜	愛菜館	5,070	4,685	野菜	播磨農業高校	33	103	野菜・果物	神戸大学	179	171	合 計		57,978	55,944	配食人数 (人)	3,805	3,692	1人当・年間消費重量(kg/人)	15.2	15.2
市内産食材名	納入者	H27重量(kg)	H28重量(kg)																															
米	県体育協会	52,696	50,985																															
野菜	愛菜館	5,070	4,685																															
野菜	播磨農業高校	33	103																															
野菜・果物	神戸大学	179	171																															
合 計		57,978	55,944																															
配食人数 (人)	3,805	3,692																																
1人当・年間消費重量(kg/人)	15.2	15.2																																
今後の取組・課題	<p>・南部学校給食センターは、建設より49年が経過し老朽化が進んでいる為、平成29年度に設計を行い、30年度に建築する。完成後は、単独調理場3施設を南部と北部の給食センターに吸収する。また、南部学校給食センターにアレルギー対応食調理室を整備することで、全市の学校にアレルギー対応食を配食できる。地産地消について、米は全て市内産を使用しているが、野菜は種類と生産量に限りがあるため、メニューを工夫して消費量を上げることが今後の課題である。</p>			評価																														

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	6	家庭・地域・学校園が連携し、特色ある学校園づくりを進めます
------	---	-------------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する
----	---	--------------------------

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域、関係機関等の協力による、多様な体験活動・体験教育等の推進 ・学校づくり応援事業の推進(担当課:市学校教育課) ・土曜チャレンジ事業の推進 ・地域コーディネーターによる学校支援 ○子どもを犯罪・事故等から守り、安全・安心の地域づくりの推進 ・加西市地域見守り隊の活動支援 ・ワッショイスクール推進事業の活動支援 	
------	---	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
地域見守り隊・ワッショイスクール等登録者数	市内11小学校に登録している、地域見守り隊とワッショイスクール等の人数の合計	H27	—	1,200人
		H28	1,100人	1,268人

取組状況・成果	小学校における子ども見守り活動事業等一覧		
	事業名	H28登録人数	備考
	ワッショイスクール	407人	H15年度より順次設置(学校を神輿の如く支え持つ)
	子ども見守り隊	861人	H18.2月結成(登下校時の横断誘導・挨拶等)
	子ども110番の家	574件	連P推薦(子ども達の下校時に在宅家庭)、幟旗・シール
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・関係機関等と連携した取組が増加・充実し、特色ある学校づくりの推進が図れている。 ・子ども見守り活動等が、地域の理解・協力等により、毎日確実に実施され、安全安心の学校づくり・安全な登下校等に繋がっている。 ・学校・家庭・地域が、子どもたちの成長に関わる当事者として、責任と役割を果たし、互いに連携・協力して、子どもたちの教育に取り組んでいる。 			

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の取組を様々な機会に広報し、地域の更なる理解・協力が得られるようにしていきたい。 ・児童数の減少により、下校時における一人帰宅者が増加傾向にある。子ども見守り隊への登録人数が各校で差があり、特に小規模校ほど一人帰宅者が多く、見守り隊登録者が少ない現状がある。 	評価		

重点目標	1	0歳から15歳までの一貫した教育を進めます
------	---	-----------------------

実践目標	7	教職員としての資質能力の向上、研修の充実に努めます
------	---	---------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	キャリアステージに応じた資質や能力の向上・育成を目指した研修講座等の充実に努める
----	---	--

取組内容	<p>○総合教育センターにおける教職員研修講座の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員対象アンケート調査結果をもとに、26コース43講座の研修講座の開催 ・喫緊の教育課題をテーマとした講座、実践に即した事例研修やワークショップ、現地研修や特別研修講座等、多彩な講座の開催 ・全教職員(公立・私立幼保こども園等教諭・保育士含む)を対象とした教育講演会の開催 ・教科指導力の向上を目指した実技講座の開催 ・若手教員を対象としたコンプライアンス研修講座・授業力向上講座の開催 ・中学校教員を対象とした部活動指導者研修講座の開催 ・参加者全員を対象とした講座終了後のアンケート(講座評価・感想等)の実施 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
研修講座における受講者評価 (5点満点)	参加者全員を対象とした、講座終了後のアンケート(講座評価)結果	H27	—	4.64
		H28	4.5	4.47

取組状況・成果	総合教育センター教職員研修講座・指標一覧		
	成果指標	H27	H28
	教職員研修講座数	39講座	43講座
	講座受講者延べ人数	1,124人	1,438人
<p>・受講後アンケート調査による講座評価が、5段階平均で 4.47ポイント(昨年度比-0.17ポイント)という高評価を得ることができた。(昨年度と比べてマイナスとなったがアンケート記述等から満足であったことがうかがえた)</p> <p>・若手教員を対象としたコンプライアンス研修講座・授業力向上講座の受講者数の多さ、当日の意欲的な雰囲気、受講後評価の高さ、次回も参加したい等の希望が多かったことが、新規開設して良かったと実感できた。</p> <p>・特別研修講座(関西大学田尻悟郎教授による英語科授業力向上研修会・教職員中央研修報告会等)の開催も、タイムリーかつ内容の濃いものとなり、受講後評価の高さと、次年度も開設して欲しい旨のアンケート報告が数多く寄せられた。</p>			

今後の取組・課題	<p>・勤務経験3年から5年を対象とした悉皆研修において、ここ数年の新規採用教職員の増加に伴い、参加研修回数が増え、学校業務等に支障をきたす小学校も現れた。平成29年度開設研修講座の内容・講座数・悉皆又は希望の選択・実施日時等を見直し、キャリアステージ・ライフステージに応じた有意義な研修講座の計画に努めたい。</p> <p>・講師との打合せ等を綿密に行い、受講者のニーズにあった充実した講座の実施に努めたい。</p>	評価		

重点目標	2	生涯を通じた「学び」を充実します
------	---	------------------

実践目標	1	市民一人一人のニーズと社会の要請に応える「学び」の場を提供します
------	---	----------------------------------

【 担当課 生涯学習課 】

取組	1	学習機会を提供する
----	---	-----------

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育施設の機能の充実と条件整備 ○公民館主催講座の拡充(年間40講座)等生涯学習機会の充実 ○市広報のほか、様々な媒体を利用し、生涯学習情報の発信 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
公民館主催講座数	公民館主催講座の年間講座数	H27	—	53
		H28	40	52

取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・南部公民館・北部公民館の空調設備修理を実施し、社会教育施設の機能を充実させた。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公民館主催講座数</td> <td>53講座</td> <td>52講座</td> </tr> <tr> <td>公民館主催講座参加延人数</td> <td>9,510人</td> <td>8,930人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌、チラシ、インターネット、SNS等様々な媒体を活用し、生涯学習情報を発信した。 				平成27年度	平成28年度	公民館主催講座数	53講座	52講座	公民館主催講座参加延人数	9,510人	8,930人
	平成27年度	平成28年度										
公民館主催講座数	53講座	52講座										
公民館主催講座参加延人数	9,510人	8,930人										

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図ることが必要である。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域のニーズに対応した学習機会を提供する。 	評価		

重点目標	2	生涯を通じた「学び」を充実します
------	---	------------------

実践目標	2	「いつでも、どこでも、気軽に」学べる公民館活動を充実します
------	---	-------------------------------

【 担当課 生涯学習課 】

取組	1	学習成果を地域に還元する
----	---	--------------

取組内容	<p>○公民館登録グループ出前講座の参画グループが30グループになるように推進</p> <p>○公民館登録グループ、社会教育団体の主体的な活動の支援</p>	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
出前講座	出前講座実施グループ数	H27	—	25
		H28	30	29

取組状況・成果	<p>・公民館出前講座の実施グループ数は29グループ、昨年より4グループ多くなり、昨年より受講者数も約1,000人増加</p>		
		平成27年度	平成28年度
	公民館出前講座実施グループ数	25グループ	29グループ
	公民館出前講座受講者数	2,300人	3,877人
	<p>・善防公民館と地域住民とで、毎年交流事業を開催し、地域の特性を生かした魅力ある地域づくりに積極的に取り組んでいると評価され、こころ豊かな美しい北播磨推進会議より優秀賞を受賞した。</p>		

今後の取組・課題	<p>・主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、学習成果を還元できるようになってきた。</p> <p>・公民館まちづくり出前講座は年々参加者数は増えているものの、講座を行うグループに偏りが見られる。</p>	評価		

重点目標	2	生涯を通じた「学び」を充実します
------	---	------------------

実践目標	3	ふるさとの豊かな歴史、文化遺産を活かしたまちづくりを進めます
------	---	--------------------------------

【 担当課 生涯学習課 】

取組	1	指定文化財および埋蔵文化財の保護活用と情報発信に取り組む
----	---	------------------------------

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市指定文化財の指定 ○指定文化財整備活用 ○未指定文化財の再評価 ○埋蔵文化財包蔵地の周知と開発計画との調整 ○地域、学校教育、イベントへの出前講座・説明会等の開催(開催6回) ○玉丘史跡公園の効率的な管理と運営 ○埋蔵文化財整理室等の活用(資料展示2回 来館目標250人) 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
市指定文化財の指定	未指定文化財を1件/年で新たに指定する	H27	—	0
		H28	1	9

取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・住吉神社建造物群(9件)を市文化財指定後に県指定に申請し県指定文化財(市指定のうち7件一括)に指定される。 ・指定文化財修理2件(住吉神社幣殿修理・五百羅漢石仏修理)への補助金助成を実施し整備を図った。 ・埋蔵文化財と開発計画の調整事務を277件、立会調査を1件、確認調査を10件実施。 ・出前講座・講師派遣・見学会等の開催(小学校:2校 団体・一般8件260名が参加)。 ・加西市歴史文化基本構想策定に向けた基礎調査を実施。 ・埋蔵文化財整理室特別展の開催(年間来室者数約255名(前年比22%))。 ・史跡公園(指定管理)の来園者数31,553名(前年比65%)。 	
---------	---	--

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物の老朽化や石造物の風化等の問題、未指定文化財を含め防火防犯の問題があり、文化財の保存と維持管理の充実を図ることが課題である。 ・看板設置や情報発信、観光ルート設定等、文化財の観光資源化への取組の拡充が必要である。 ・平成29年度に「加西市歴史文化基本構想」を策定予定。 	評価		

取組	2	地域歴史遺産の掘り起こしと活用及び文化財保存団体等の活動を支援する		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「文化遺産を活かした地域活性化事業」の推進(10団体) ○「加西市史を読む会」の開催(10回開催 参集目標200人) ○青野原俘虜収容所関連調査 ○市内各文化財保存会等の活動支援(34団体) ○文化財サポーターの再編成 			
指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
「加西市史を読む会」の開催	年間参加者数	H27	—	224
		H28	200	261
取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化遺産を活かした地域活性化事業」実施、文化遺産情報発信事業1件(歴史街道ボランティアガイド養成講座)、文化遺産普及啓発事業2件(鶉野飛行場、五百羅漢)、文化遺産継承事業7件(笠屋・南町・黒駒・東高室・小谷・畑町化粧屋台修理・節句祭り祭具修理)、文化遺産調査研究事業1件(小谷区調査)など多種多様で有効な文化遺産の活用ができた。 ・「加西市史を読む会」を開催し加西史の普及に努めた(10回開催 参加者261人)。 ・青野原俘虜収容所の付属棟測量調査、冊子のドイツ語翻訳を実施。 ・文化財保存会等活動助成34団体への補助金助成実施等を通じて継続的な歴史文化遺産の保存を充実させることができた。 ・昨年度の課題に挙げていた文化財サポーターを再編し、研修会を実施した(1回) 			
今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史遺産や伝統文化の担い手である地域の文化財保存会等への活動支援の充実を図ることが課題である。 	評価		
		□	□	□
		■	□	□
		□	□	□

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援し、支援します
------	---	----------------------

実践目標	1	子育て環境の充実を図ります
------	---	---------------

【 担当課 こども未来課 】

取組	1	幼保連携型認定こども園の整備と学童保育の充実を図る
----	---	---------------------------

取組内容	<p>○健やかな成長を支える子育て環境整備を促進し、幼保連携型認定こども園を整備、推進</p> <p>○放課後や土曜日の児童健全育成の場となる学童保育事業の充実</p>	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
学童保育入園者数	毎年4月1日時点の入園者数	H27	—	293人
		H28	300人	333人

取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児の受入確保と3歳からの幼児教育推進を図るため、加西こども園の建設、(仮称)北条西こども園の設計に着手し、待機児童の抑制と保育と教育の一体的な提供や人的体制を整えた。 ・泉中学校区のこども園整備計画について、保護者や地域住民との協議の場を精力的に設け、今後の幼保の望ましいあり方について話し合い、共通理解に努めた。 ・保護者が安心して子どもを預けて働くことができるように学童保育園の環境整備に努め、利用人数の増加につながった。また、指導員の確保・充実を図り、毎月の連絡会を活用した指導を行った。また県の資格認定研修に11名が参加した。 			
---------	---	--	--	--

今後の取組・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・泉中学校区でのこども園整備計画は地域事情、児童数の推移等、慎重に協議を進める必要がある。 ・公設による施設整備には建設に係る財源確保が必要である。 	評価		

取組	2	特別保育ならびに保育料の負担を軽減する		
取組内容	<p>○延長保育、病児・病後児保育など特別保育の充実</p> <p>○多子世帯への保育料負担軽減及び一部助成の実施</p>			
指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
病児・病後児保育園の利用者	年間利用者数	H27	—	411人
		H28	400人	475人
取組状況・成果	<p>・病児・病後児保育制度の周知によって利用者が増え、子育ての不安解消につながった。</p> <p>・保育料の負担軽減を実施し、子育て世代の経済的な負担の軽減に努めた。また、多子世帯に対する保育料軽減は、第2子146名、第3子90名の申請を受理し、負担軽減を行った。</p>			
今後の取組・課題	<p>・今後の保育料の設定については近隣市や国の動向を注視する必要がある。</p>	評価		

取組	3	親子のふれあいや地域交流を通じた子育て支援を実施する				
取組内容	<p>○つどいの広場を活用した親子のふれあいや子育て支援活動の実施</p> <p>○ねひめキッズ等の施設に子育て拠点を設け、相談ならびに就園前の親子交流の場に提供</p>					
指標名		指標説明	区分	目標数値	実績数値	
子育てひろば利用者数		「ねひめキッズ」、「ほくぶキッズ」、「ぜんぼうキッズ」の3施設を訪れた年間延人数	H27	—	25,690人	
			H28	26,000人	25,674人	
取組状況・成果	<p>・「ねひめキッズ」、「ほくぶキッズ」、「ぜんぼうキッズ」の各子育てひろば園の特色を活かした親子交流の場の提供に努めた。平成28年度の年間延べ利用者は25,674人となった。</p> <p>・子育てハンドブックの配布や広場情報を子育て世代に届けるメール配信サービスの活用を進め、子育て広場に関する情報発信の強化に努めた。</p>					
今後の取組・課題	<p>・低年齢で保育所等に入園する児童が増えており、未就園者の利用が減少する一方、登園後に親子で利用するケースも増えているため、開園時間の拡大等の見直しを行う。</p>			評価		

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援し、支援します
------	---	----------------------

実践目標	2	命と人権を大切に作る心豊かでたくましい青少年の健全育成を進めます
------	---	----------------------------------

【 担当課 総合教育センター 】

取組	1	青少年の健全育成に係る関係機関・団体等との情報交換や合同研修活動等の充実を図る
----	---	---

取組内容	<p>○青少年の非行防止・健全育成等に係る各種関係機関・団体等との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市青少年補導委員連絡協議会との連携 ・県青少年センター協議会・県補導委員連合会・北播磨補導委員連絡協議会等との連携 ・北播磨県民局との連携 ・市補導委員連絡協議会・市青少年健全育成会・市連合PTA等との合同学習会の開催 ・市補導委員等による「ネット見守り監視行動」の実施 ・市内相談機関(地域福祉課・まーぶるキッズ・ぜんぼうキッズ・ほくぶキッズ・ふるさと創造課)との連携 ・小中学生のインターネット等の使用に関するアンケート調査と啓発リーフレットの作成・配付 ・市地域見守り隊・ワッシュョイスクール・子ども110番活動等の支援 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
見守り活動等数	補導委員による街頭補導・特別補導・ネット見守り、女性協力員による登下校等見守り・合同補導等の延べ活動人数及び合同研修会等の参加人数の合計	H27	—	2,113人
		H28	2,000人	2,362人

取組状況・成果	青少年の非行防止・健全育成等に係る各種団体・連絡協議会等一覧	
	団体等名	備考
	加西市青少年補導委員連絡協議会	152名(市内各町代表・女性協力員・市内県立高2校代表等)
	加西市ネット見守り隊	毎月1回(19:30～21:00)見守り活動、スキルアップ研修会等の実施
	市総合教育センター女性協力員の会	10名(4中PTA・北高PTA・連合婦人会・更生保護女性会)
	加西市青少年健全育成連絡協議会	10名(小学校区毎(北小・東小は合同))不審者注意啓発幟旗
	加西市子ども会育成連絡協議会	校区・市行事(オセロ大会・親善球技大会・雪体験ツアー等)
	加西市連合PTA	子ども見守り隊活動・子ども110番の家設置等
	加西市青少年団体連絡協議会	デイキャンプ・新春のつどい・とんど焼き等
青年連絡会えんどれす	かさいサイサイ祭り「お化け屋敷大作戦」等	
・センター内に各種団体・連絡協議会等の事務局があり、担当者と代表等が連携を密にして活動できた。また、健全育成に係る各種団体・協議会等を繋ぎ合わせる役割も果たせた。		

今後の取組・課題	<p>・児童生徒等の、インターネット(SNS・YouTube・Twitter等)に関わる問題行動や家庭事情による問題行動等、様々な要因が複雑に絡んだり、表面に見えるにくくなっている。インターネット利用等の親子学習会の充実、センター学校サポートチーム(スクールソーシャルワーカー派遣等)による支援等の充実を図りたい。</p>	評価		

重点目標	3	みんなで子どもの未来を応援し、支援します
------	---	----------------------

実践目標	3	安全・安心な教育環境を整えます
------	---	-----------------

【 担当課 教育総務課 】

取組	1	教育施設の老朽化度合いを考慮し、各年度に実施する改修工事件数を設定し、計画的に改修工事を実施する
----	---	--

取組内容	<p>○計画的な改修工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の耐震化は、平成27年度に100%になり、平成28年度に旧校舎の解体撤去と外構工事が完成することで耐震化関連工事が完了した。耐震化が必要でない施設については、今後計画的に改修工事を実施し、環境改善に取り組む。 <p>平成28年度施工計画件数4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西在田小学校地震改築工事(旧校舎解体撤去、外構工事)平成27年6月～平成28年9月 ②北条中学校プール浄化装置更新工事 平成28年4月～6月 ③加西中学校プール浄化装置改修工事 平成28年4月～6月 ④加西中学校校務員室棟改修工事 平成28年7月～9月 	
------	--	--

指標名	指標説明	区分	目標数値	実績数値
教育施設の改修・修繕計画件数	教育施設の改修・修繕工事件数	H27	17件	17件
		H28	4件	4件

取組状況・成果	<p>・加西中学校プール浄化装置更新工事は、12月にプール改築工事の予算が議決されたため取りやめた。また、プール改築工事費は、平成29年度へ繰越し施行する。実績数値については、加西中学校の浄化装置改修工事が改築工事へ大きな変更となったが、件数は計画通りの4件である。</p> <p>教育施設整備事業一覧</p>		
	工事・委託業務名	工事・委託期間	出来高
	西在田小学校地震改築工事(H28施工分:旧校舎解体・外構工事)	平成27年6月22日～28年9月30日	100%
	北条中学校プール浄化装置改修	平成28年4月27日～6月10日	100%
	加西中学校プール改築工事設計委託	平成29年2月16日～6月30日	5%
	加西中学校校務員室棟改修工事	平成28年7月21日～9月15日	100%

今後の取組・課題	<p>・施設の老朽化が進んでいるため、計画的に改修工事を行う必要がある。</p> <p>平成29年度工事予定件数5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ①加西中学校プール改築工事 ②特別支援学校温水プール設備改修工事 ③富合小学校北校舎トイレ整備工事 ④善防中学校プール浄化装置更新工事 ⑤泉中学校プール塗装工事 	評価		

総合コメント

評価委員会の評価	概ね妥当
<p>第2期「加西市教育振興基本計画」（第2期加西教育プラン）に基づき、具体的な成果目標（指標）を掲げ、その実現に向けた様々な取組がなされつつある。</p> <p>今後、施策の更なる充実に向け、関係各課が連携協働し、成果指標の設定、取組手法の選択、資源投資、点検評価を適切に図ることで、基本理念の「新しい時代を切り拓くところ豊かで自立した人づくり」を推進していただきたい。</p>	

※評価委員会の評価については、「妥当」「概ね妥当」「やや不満」「不適」の4段階評価とする。

教育委員会評価委員会

教育委員会の点検評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見や、客観性を確保することが可能となる方の意見をいただき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすことを趣旨としており、次の方々に評価委員をお願いしました。

評価委員会委員	
所 属	氏 名
兵庫教育大学大学院 教授	日渡 円
兵庫教育大学大学院 准教授	押田 貴久